授業科目名	記録管理概論（記録情報管理士準備講座3級対策）		
担当者名	八木　信幸（実務家教員）　＊全12回授業を担当		
開講年度学期	2024年度　前期	**授業形態**	対面授業・遠隔授業
単位数	2	**授業区分**	週間授業
授業の概要	近年、記録管理へのニーズや関心が非常に高まっている。官民を挙げて DX 推進が取り組まれているが、DX（デジタルトランスフォーメーション）の要となるのが情報であり記録なのである。DX 推進の一例として、電子帳簿保存法改正法が 2022 年 1 月に施行され、2023 年 10 月からはインボイス制度がスタートした。DX 推進では「電子化の推進」という部分にばかり目が行きがちではあるが、これらも記録が適切に管理される仕組みが前提となっている。 本講座では、組織における記録管理に焦点をあて、文書管理総論、紙のファイリングの手法や電子文書管理の基礎、アーカイブズ、機密情報管理など記録情報管理の全体像を把握できるよう講義するとともに、実習等を通じて問題解決能力を育成する。		
授業の到達目標 及びテーマ	DX 推進のためには電子化だけでなく記録や情報の管理も重要です。又、東日本大震災以降、BCP（事業継続計画）の策定が急務となっています。その結果、記録管理の必要性が再認識され、官公庁、大手企業がこぞって文書管理の再構築に取り組んでいます。 これからの時代、記録情報管理士検定資格は、官民問わずリスク管理部門、内部統制部門など様々な分野で必要とされるビジネス能力です。		